

認定番号：22

サポーター名：株式会社建設技術研究所

▶実施内容の分類：(1) 企業等のWeb ページ、SNS、広報誌、ポスター等への情報掲載

取組実績

●リアルタイムの水害リスク情報の配信
ゲリラ豪雨や集中豪雨などを予測して、水災害の発生リスクをリアルタイムに発信。60分先までの内水氾濫リスクの他、一級水系毎の河川氾濫リスクの参考となる36時間先までの「アンサンブル流域予測雨量」を提供。このサービスは企業だけでなく、一般ユーザーも無料で利用可能です。

【参照】 <https://www.riskma.net/ja/top>

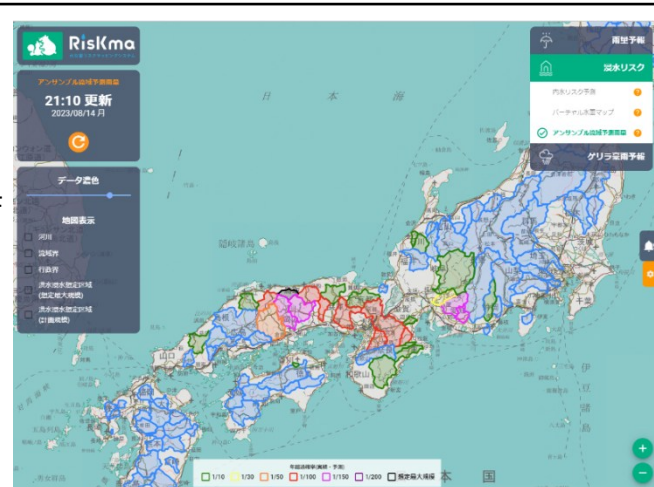


図 アンサンブル予測雨量表示例

●「流域治水DXシステム」の開発
流域治水の施策立案、効果検証、施策の進捗管理を共有することを目的に開発したシステムです。令和7年には開発したシステムの機能を拡充し、さまざまな流域治水施策の地先から大河川までの効果を同一システム内で定量的に評価ができるよう改良しました。今後、現場での利活用に向けて、河川管理者、自治体と協議をしていきます。

【参照】

https://www.ctie.co.jp/news/tech/2025/20250806_1543.html

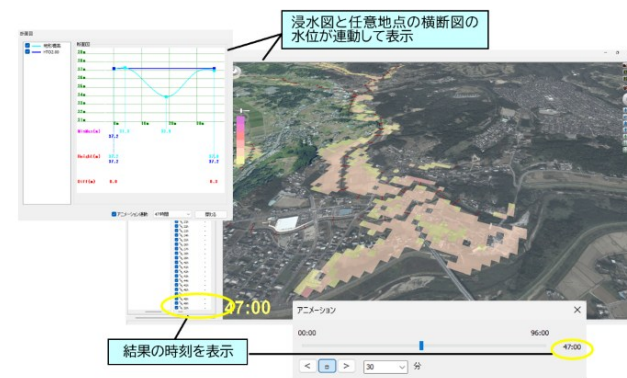


図 流域治水DXシステム画面例